



2020年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月7日

上場会社名 シグマ光機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7713 URL <http://www.sigma-koki.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 洋介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 菊池 健夫 TEL 03-5638-8221
 四半期報告書提出予定日 2019年10月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第1四半期の連結業績（2019年6月1日～2019年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第1四半期	2,166	△3.7	189	△46.4	208	△48.1	134	△49.2
2019年5月期第1四半期	2,249	9.4	352	14.8	401	18.2	264	15.8

(注) 包括利益 2020年5月期第1四半期 51百万円 (△82.9%) 2019年5月期第1四半期 299百万円 (10.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第1四半期	18.98	—
2019年5月期第1四半期	37.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期第1四半期	15,702	12,698	80.5	1,785.09
2019年5月期	15,757	12,791	80.8	1,797.65

(参考) 自己資本 2020年5月期第1四半期 12,642百万円 2019年5月期 12,731百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2020年5月期	—	—	—	—	—
2020年5月期（予想）	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年5月期の連結業績予想（2019年6月1日～2020年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,540	△1.5	525	△26.1	580	△27.3	365	△31.3	51.53
通期	9,230	2.0	1,130	0.6	1,255	0.7	840	1.4	118.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年5月期1Q	7,552,628株	2019年5月期	7,552,628株
② 期末自己株式数	2020年5月期1Q	470,304株	2019年5月期	470,304株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年5月期1Q	7,082,324株	2019年5月期1Q	7,082,324株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米中の貿易摩擦や英国のEU離脱問題などの影響が続き、減速傾向で推移いたしました。米国経済は、個人消費などが底堅く推移したものの、拡大ペースは緩やかとなりました。欧州経済は、緩やかな回復基調で推移いたしました。又、中国経済では景気の減速傾向が続き、その影響で東南アジアなどの新興国経済の成長も減速いたしました。わが国経済は、輸出や生産に弱さがみられたものの、個人消費が底堅く推移し、緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループにおいては、大学・国立研究開発法人向け研究開発分野の需要は安定的に推移いたしました。民間企業向け研究開発分野及び産業分野は、世界経済の先行き不透明感の高まりなどを背景に、設備投資に足踏み感が見られ、需要は弱含みで推移いたしました。FPD業界向けや電子部品・半導体業界向けにおいては、レーザー加工機・検査装置への組込み用途の光学システム製品及び光学素子・薄膜製品の需要は軟調に推移いたしました。又、防衛業界、医療業界向けの光学ユニット製品の需要は緩やかな回復基調で推移し、バイオ業界向け自動位置決め装置などの自動応用製品の需要は堅調に推移いたしました。米国地域では、バイオ業界・医療業界向けの光学基本機器製品の需要が堅調に推移し、回復基調で推移いたしました。又、欧州地域では、大学・官公庁向け研究開発分野向け、産業分野向けともに光学要素製品の需要は弱含みで推移いたしました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は21億6千6百万円（前年同期比3.7%減）、営業利益1億8千9百万円（前年同期比46.4%減）、経常利益2億8百万円（前年同期比48.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億3千4百万円（前年同期比49.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 要素部品事業

当事業においては、国内の大学・国立研究開発法人向け研究開発分野の需要は安定的に推移いたしました。民間企業向け研究開発分野及び産業分野は、世界経済の先行き不透明感の高まりなどを背景に、設備投資に足踏み感が見られ、需要は弱含みで推移いたしました。国内・アジア地域を中心としたFPD業界向けや電子部品・半導体業界向けにおいては、光学基本機器製品は堅調に推移したものの、レーザー加工機・検査装置への組込み用途の光学素子・薄膜製品の需要は軟調に推移いたしました。バイオ業界向けの顕微鏡への組込み用途の自動位置決め製品などを中心に自動応用製品が堅調に推移いたしました。米国地域では、バイオ業界・医療業界向けの光学基本機器製品の需要が堅調に推移いたしました。又、欧州地域では、大学・官公庁向け研究開発分野向け、産業分野向けはともに弱含みで推移いたしました。

その結果、セグメント間の内部売上高を含む売上高は17億8千3百万円（前年同期比1.3%増）となり、営業利益は2億8千9百万円（前年同期比25.4%減）となりました。

② システム製品事業

当事業においては、国内・海外の民間企業向け研究開発分野及び産業分野では、世界経済の先行き不透明感の高まりなどを背景に、設備投資に足踏み感が見られ、需要は軟調に推移いたしました。国内・アジア地域については、FPD業界向けのレーザー加工機・検査装置への組込み用のレンズユニットなどの光学ユニット製品の需要は弱含みで推移いたしました。又、防衛業界、医療業界向けの光学ユニット製品の需要は緩やかな回復基調で推移いたしました。

その結果、セグメント間の内部売上高を含む売上高は3億9千7百万円（前年同期比22.5%減）となり、営業利益は2千2百万円（前年同期比77.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.8%減少し、85億5千2百万円となりました。これは、有価証券が5億1千9百万円減少し、受取手形及び売掛金が1億6千7百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4.1%増加し、71億4千9百万円となりました。これは、当社における新工場棟建設のための建設仮勘定が3億1千万円増加したことなどによるものです。

その結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.3%減少し、157億2百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2.7%増加し、21億2千8百万円となりました。これは、短期借入金1億7千8百万円、賞与引当金が1億2千万円それぞれ増加しましたが、未払法人税等が1億8百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1.9%減少し、8億7千5百万円となりました。これは、長期借入金2千8百万円減少したことなどによるものです。

その結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1.3%増加し、30億3百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.7%減少し、126億9千8百万円となりました。

自己資本比率は、80.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年7月8日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,407,258	2,349,429
受取手形及び売掛金	1,854,141	2,021,904
電子記録債権	708,180	757,646
有価証券	1,201,894	681,997
商品及び製品	966,463	918,285
仕掛品	380,668	440,467
原材料及び貯蔵品	1,244,515	1,222,934
その他	126,877	162,327
貸倒引当金	△2,172	△2,183
流動資産合計	8,887,827	8,552,809
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	842,191	826,275
機械装置及び運搬具(純額)	649,807	623,708
建設仮勘定	431,370	744,568
土地	1,357,505	1,356,863
その他(純額)	158,236	145,842
有形固定資産合計	3,439,111	3,697,257
無形固定資産		
その他	152,778	144,137
無形固定資産合計	152,778	144,137
投資その他の資産		
投資有価証券	875,562	889,856
繰延税金資産	214,998	247,546
投資不動産(純額)	1,940,204	1,929,608
その他	250,428	244,739
貸倒引当金	△3,438	△3,288
投資その他の資産合計	3,277,755	3,308,461
固定資産合計	6,869,645	7,149,856
資産合計	15,757,473	15,702,666

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	483,764	521,301
電子記録債務	570,662	548,702
短期借入金	180,800	358,800
未払法人税等	225,348	116,913
賞与引当金	8,315	129,012
役員賞与引当金	20,900	—
受注損失引当金	25,699	19,261
その他	557,505	434,035
流動負債合計	2,072,995	2,128,025
固定負債		
長期借入金	115,800	87,600
退職給付に係る負債	674,611	684,168
その他	102,655	104,085
固定負債合計	893,066	875,854
負債合計	2,966,062	3,003,879
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,623,347	2,623,347
資本剰余金	3,092,112	3,092,112
利益剰余金	7,394,569	7,387,378
自己株式	△633,891	△633,891
株主資本合計	12,476,137	12,468,947
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	176,705	178,310
繰延ヘッジ損益	—	△6,805
為替換算調整勘定	113,766	35,438
退職給付に係る調整累計額	△35,026	△33,281
その他の包括利益累計額合計	255,445	173,661
非支配株主持分	59,827	56,177
純資産合計	12,791,410	12,698,786
負債純資産合計	15,757,473	15,702,666

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
売上高	2,249,019	2,166,180
売上原価	1,319,497	1,342,138
売上総利益	929,521	824,041
販売費及び一般管理費	576,868	634,917
営業利益	352,653	189,124
営業外収益		
受取利息	840	943
受取配当金	200	170
不動産賃貸料	25,566	31,381
持分法による投資利益	17,857	12,075
為替差益	21,695	—
その他	5,907	8,562
営業外収益合計	72,067	53,133
営業外費用		
支払利息	720	656
為替差損	—	11,560
不動産賃貸費用	22,105	19,004
その他	162	2,587
営業外費用合計	22,988	33,808
経常利益	401,732	208,448
特別損失		
固定資産売却損	—	1,618
特別損失合計	—	1,618
税金等調整前四半期純利益	401,732	206,829
法人税、住民税及び事業税	158,292	104,471
法人税等調整額	△23,662	△33,723
法人税等合計	134,630	70,747
四半期純利益	267,102	136,082
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,397	1,625
親会社株主に帰属する四半期純利益	264,705	134,456

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益	267,102	136,082
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,539	1,668
繰延ヘッジ損益	—	△6,805
為替換算調整勘定	41,905	△81,362
退職給付に係る調整額	1,844	1,745
その他の包括利益合計	32,211	△84,754
四半期包括利益	299,313	51,327
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	297,860	52,735
非支配株主に係る四半期包括利益	1,453	△1,408

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	合計
	要素部品事業	システム製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,749,508	499,510	2,249,019	—	2,249,019
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,832	12,984	23,816	(23,816)	—
計	1,760,340	512,495	2,272,836	(23,816)	2,249,019
セグメント利益	387,693	103,172	490,866	(138,212)	352,653

(注) 1. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去△23,816千円、全社費用△114,395千円であります。なお、全社費用は各報告セグメントに配分できない管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	合計
	要素部品事業	システム製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,774,047	392,132	2,166,180	—	2,166,180
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,707	5,165	14,872	(14,872)	—
計	1,783,754	397,298	2,181,053	(14,872)	2,166,180
セグメント利益	289,124	22,803	311,927	(122,803)	189,124

(注) 1. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去△14,872千円、全社費用△107,930千円であります。なお、全社費用は各報告セグメントに配分できない管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。